

国内に流通する主なヒト用抗菌性物質の例

分類名	抗菌性物質名
にランク付けされるもの	
14及び15員環構造を有するマクロライド系	アジスロマイシン、クラリスロマイシン、ロキシスロマイシン
オキサゾリジノン系	リネゾリド
カナマイシン系	アルベカシン
カルバペネム系	イミペネム / シラスタチンナトリウム、ドリペネム、パニペネム / ベタミプロン、ピアペネム、メロペネム
グリコペプチド系	テイコブラニン、バンコマイシン
ケトライド系	テリスロマイシン
抗結核薬	イソニアジド、エチオナミド、塩酸エタンブトール、エンピオマイシン、グラミシジンS、サイクロセリン、ピラジナミド、リファンピシン
ストレプトグラミン系	キヌプリスチン/ダルフォプリスチン
第3世代(オキサ型を含む。)及び第4世代セフェム系	セフェピム、セフォジジム、セフォゾプラン、セフォタキシム、セフォテタン、セフォペラゾン、セフカベンピボキシル、セフジトレンピボキシル、セフスロジン、セフトラジジム、セフチゾキシム、セフチブテン、セフテラムピボキシル、セフトリアキソン、セフピラミド、セフピロム、セフペラゾン、セフポドキシム、セフメノキシム、ラタモキシム
フルオロキノロン系	エノキサシン、オフロキサシン、ガチフロキサシン、シプロフロキサシン、スバルフロキサシン、トスフロキサシン、ノルフロキサシン、パズフロキサシン、プルリフロキサシン、フレロキサシン、レボフロキサシン、ロメフロキサシン
ムピロシン	ムピロシン
深刻な疾病の原因菌に対して抗菌活性を有する新しい抗菌性物質	
にランク付けされるもの	
14及び15員環構造を有するマクロライド系	エリスロマイシン
-ラクタマーゼ阻害薬が配合されたもの	タゾバクタム / ピペラシリン、クラブラン酸 / アモキシシリン、スルバクタム / アンピシリン、スルバクタム / セフォペラゾン、トシル酸スルタミシリン
カナマイシン系の耐性菌抵抗性	アミカシン、ジベカシン、トブラマイシン
ゲンタマイシン・シソマイシン系	イセパマイシン、ゲンタマイシン、シソマイシン、ネチルマイシン、マイクロマイシン
ストレプトマイシン系	ストレプトマイシン
スルホンアミド系のトリメトプリムが配合されたもの	スルファメトキサゾール / トリメトプリム

分類名	抗菌性物質名
第2世代セフェム系(オキサ型を含む。)	セファクロル、セファトリジン、セファドロキシル、セファマンドール、セファレキシン、セフィキシム、セフェタメトピボキシル、セフォチアム、セフジニル、セフミノクス、セフメタゾール、セフラジン、セフロキサジン、セフロキシム、フロモキセフ
テトラサイクリン系の活性の持続性を強化したもの	ドキシサイクリン、ミノサイクリン
ペニシリン系の天然型	ペニシリンG(ベンジルペニシリン)
ペニシリン系の広域型	アスポキシシリン、アモキシシリン、アンピシリン、シクラシリン、スルベニシリン、タランピシリン、チカルシリン、バカンピシリン、ピブメシリナム、ピペラシリン、レナンピシリン
ホスホマイシン	ホスホマイシン
モノバクタム系	アズトレオナム、カルモナム
リンコマイシン系	クリンダマイシン、リンコマイシン
にランク付けされるもの	
16員環構造を有するマクロライド系	キタサマイシン、ジョサマイシン、スピラマイシン、ミデカマイシン、ロキタマイシン
アストロマイシン系	アストロマイシン
カナマイシン系の天然型	カナマイシン、ペカナマイシン
スペクチノマイシン系	スペクチノマイシン
フラジオマイシン系	フラジオマイシン(ネオマイシン)、リボスタマイシン
オールドキノロン系	シノキサシン、ナリジクス酸、ピペミド酸、ピロミド酸
クロラムフェニコール系	クロラムフェニコール、チアンフェニコール
スルホンアミド系	サラゾスルファピリジン、スルファジアジン、スルファジメトキシシリン、スルファメチゾール、スルファメトキサゾール、スルファモノメトキシシリン、スルファイソキサゾール、スルファイソミジン
第1世代セフェム系	セファゾリン、セファピリン、セファロチン、セフテゾール
テトラサイクリン系の天然型	オキシテトラサイクリン、テトラサイクリン、デメチルクロルテトラサイクリン
フシジン酸	フシジン酸
ペニシリン系のペニシリナーゼ抵抗性を有するもの	オキサシリン、クロキサシリン、ジクロキサシリン、ナフシリン、メチシリン
ペニシリン系の耐酸性を有するもの	フェネチシリン
ベネム系	ファロベネム
ポリペプチド系	コリスチン、バシトラシン、ポリミキシンB